

『地域研究のためのフィールド活用型現地語教育』

平成 24 年度派遣報告書

—インド・発展社会研究所、ヒンディー語・派遣期間 (H24. 7. 2-H24. 10. 1)—

平成 24 年入学
大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
博士課程 1 回生
渡部 智之

自身の研究テーマについて

報告者の調査対象であるインドの児童開発サービススキームは、農村やスラムなど恵まれない地域の 6 歳未満の子どもや産前産後の母親を対象に健康や教育のサービスを総合的に提供するものである。1975 年に 33 のプロジェクトから始まり、現在ではインド全国で 6908 プロジェクトが実施されている。しかし、サービスの提供拠点となるチャイルドケアセンターでは、トイレの未設置など衛生上の問題や教育者の教育能力の欠如に伴う就学前ノンフォーマル教育の不実施等、様々な問題点が指摘されてきた。

近年、このような問題点を背景にケアセンターの量的拡大のみならず、サービスの質的向上のために、NGO によるサービスの代替提供、州政府と NGO が連携したサービス提供等の取り組みが実施されている。このように政府の開発スキーム単独では十分保障されない子どもの福祉や教育を、NGO 等の中間集団を通じていかに確保するのか、単に子どもが文字を読み書きできるようになるだけではなく、就学機会はいかにして実現することができるのかを明らかにすることが報告者の研究テーマである。

研修言語の概要

ヒンディー語は、連邦公用語として使用されるとともに、インド北・中部を中心に日常生活で使用されている言語である。特に報告者が調査したデリー、コルカタ、ムンバイの 3 都市のスラムでは、インド国内の様々な都市、農村からの移住者やバングラディッシュ、ネパールからの移民が、ヒンディー語を共通語として使用していた。このようにヒンディー語は多様な階層、地域の人々に使用される重要な言語である。

語学研修の内容について

今回の語学研修では、リスニング力とスピーキング力の向上に重点を置いて計画を組んだ。最初の調査地であるデリーでは、現地の大学生から平日 18 時から 2 時間の指導を受けた。内容は、リクシャー運転手との値段交渉の仕方など日常生活で必要となる基本的な会話を中心に、基本的な文法の習得や発音矯正を行った。特に発音の習得に関しては、大学生の発音をボイスレコーダーに保存し、何度も聞き直してイントネーションを真似しながら発音のトレーニングを行った。また、普段使う単語と使わない単語、英単語を使用する場合など実践的な知識の習得も行った。

その後の調査地であるコルカタ、ムンバイでは、家庭教師からほぼ毎日 18 時から 2 時間の指導を受けた。内容は、文法、発音の習得と並行して、日中の調査で必要な単語、文章を題材とした、質問及び

返答の聞き取りという実践形式の研修を行った。それらをもとに、次の日の調査においてすぐに習った単語や文を使用することでインプットからアウトプットへの流れを意識的に作り出した。さらに、調査中に NGO などの職員と食事する機会などでは、できるだけヒンディー語で会話することで会話力の向上に励んだ。

研修期間中に印象に残った体験や経験

報告者の調査対象である児童開発サービスの提供拠点となるチャイルドケアセンターでは、コミュニティの女性組織の会議が行われていた。報告者がその会議を傍聴した時、出席者がノートを次々と回し朱肉を親指に付け指紋を押していたのである。私は疑問に思い同席していた NGO の職員に尋ねてみたところ、「これは出席簿だよ。彼女達は自分の名前が書けないのさ」という返答であった。

実際に自分の名前も書けない状況を目の当たりにすることで、数字で表される識字率の低さが現実の生活でどのような支障を及ぼすのか、またこれまで基礎教育がいかに普及していなかったかということを理解した。言語を学べる環境がいかに重要なのかを実感する経験であった。

目標の達成度や反省点について

今回の語学研修ではリスニング力とスピーキング力の向上を目標としていた。リスニング力に関して、渡航直後は全く何の話をしているのかさえ理解できなかったレベルであったため、2 か月後には向上を実感することができた。またスピーキング力に関しては、意思表示、調査に必要な文章、簡単な質問等基本的な部分は習得することができ、また発音も向上させることができた。

このように今回の語学研修では一定の語学力を向上させることはできた。しかし、現在のレベルは詳細な質問をすることができないなど、初歩レベルであることには変わりがない。よって、今後も今回の語学研修をベースにしてさらなる継続学習が必要であると考えている。



【写真 1：デリーのチャイルドケアセンター】



【写真2：報告者と家庭教師】



【写真3：コミュニティの女性組織】